SONY®



ICレコーダー

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書をよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

IC RECORDER

ICD-MX50

 安全のために

事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

- **安全のための注意事項を守る**
- **故障したら使わない**
- **万一異常が起きたら、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する**

警告表示の意味

この取扱説明書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・破裂などにより死亡や大けがなど人身事故が生じます。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号


火災


感電

行為を禁止する記号


禁止


分解禁止


ぬれ手禁止


接触禁止

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

目次

(次ページへ続く)

目次（つづき）

その他の機能

その他

- 本製品の不具合により、録音ができなかった場合、および録音内容が破損または消去された場合、録音内容の補償についてはご容赦ください。
- 本製品を使用したことによって生じた金銭上の損害、逸失利益および第三者からのいかなる請求につきましても、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本機は、ドルビーラボラトリーズの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。
- 録り直しの聞かない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- あなたが録音したものは個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。







下記の注意事項を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

運転中は使用しない





- 自動車、オートバイなどの運転をしながらイヤーレシーバーなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に充分ご注意ください。

内部に水や異物を落とさない





水や異物が入ると火災や感電の原因となります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに電池を抜き、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、直射日光のあたる場所には置かない





火災や感電の原因となることがあります。
とくに風呂場では絶対に使用しないでください。

国内専用機は海外で使用しない



付属のACパワーアダプターは、日本国内専用です。
交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災・感電の原因となります。

指定以外のACパワーアダプター、コードなどを使わない



破裂・液漏れや、過熱などにより、火災、けがや周囲の汚損の原因となります。

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない



感電の原因となります。



下記の注意事項を守らないとけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。





大音量で長時間つづけて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにイヤーレシーバーで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。





はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音がでて耳を痛めることがあります。



ぬれた手でACパワーアダプターをさわらない

感電の原因となることがあります。





通電中のACパワーアダプターに長時間ふれない

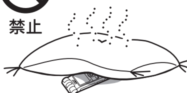
長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。



本体やACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。





電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火・誤飲による大けがや失明を避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠危険　乾電池が液漏れしたときは

乾電池の液が漏れたときは素手で液をさわらない

液が本体内部に残ることがあるため、お客様ご相談センターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。

液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。

液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

⚠警告

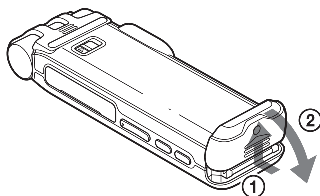
- 小さい電池は飲み込む恐れがあるので、乳幼児の手の届くところに置かない。万が一飲み込んだ場合は、窒息や胃などへの障害の原因になるので、直ちに医師に相談する。
- 機器の表示に合わせて＋と－を正しく入れる。
- 充電しない。
- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- コイン、キー、ネックレスなどの金属類と一緒に携帯・保管しない。ショートさせない。
- 液漏れした電池は使わない。
- 使い切った電池は取りはずす。長時間使用しないときも取りはずす。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

⚠注意

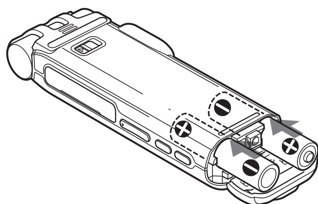
- 火のそばや直射日光のあたるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。
- 外装のビニールチューブをはがしたり傷つけたりしない。
- 指定された種類以外の電池は使用しない。

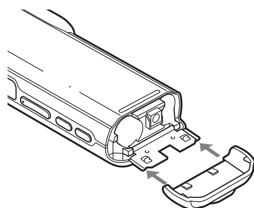
準備1：乾電池を入れる

1 電池ぶたを矢印の方向へずらして開ける。



2 単４形アルカリ乾電池（付属）を2本入れ、ふたを閉める。





電池ぶたは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは上の図のようにはめ直してください。

お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかった後に電池を入れたときには、「時計を設定してください」が表示されます。「準備2: 時計を合わせる」（12ページ）の手順6、7をご覧になり、時計を合わせてください。

初めてお使いになるときは（メモリーの初期化）

お買い上げ後、 初めて電池を入れたときは、「アクセス中」と表示が出て、内蔵メモリーの初期化が行われ、自動的にフォルダが5つ（FOLDER01～FOLDER05）作られます。

アクセス中のご注意

- 画面上に「アクセス中」表示が出ている間や、録／再ランプがオレンジに点灯または点滅している間は、メモリーへアクセス中です。アクセス中は、乾電池をはずしたり、付属のACパワーアダプターを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 用件数が多いと、「アクセス中」表示が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

乾電池を交換する時期

電池の残量がなくなってくると、表示窓の表示でお知らせします。

ご注意

- 電池を交換する際、消耗した電池を抜いてから3分以内に新しい電池を入れないと、時計設定画面に戻ってしまったり、日付・時刻が正しく表示されないことがあります。この場合は時計を合わせ直してください。録音した内容やアラーム設定は消えません。
- 本機にはマンガン電池はお使いになれません。
- 付属のACパワーアダプター使用時は、電池残量表示は表示されません。

電池の残量表示

：　2本とも新しい電池に交換してください。

↓

：　「電池を交換してください」が表示され、操作ができなくなります。

乾電池の持続時間*（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）使用時）

録音モード：	STモード	STLPモード	SPモード	LPモード
連続録音時：	約8時間	約9時間30分	約9時間30分	約10時間30分
連続再生時：	約8時間	約9時間	約9時間	約9時間

* 音量レベルが中間付近で内蔵スピーカーで再生した場合。
* 電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。

（次ページへ続く）

充電式の電池を使用する場合のご注意

- 本機では、充電式の電池も使用できます。
- 充電池で満充電状態でも、本機に入れたときにバッテリー残量表示がフル状態を示さない場合があります。
- 電池の持続時間は、アルカリ乾電池よりも短くなります。
- 充電池を充電する際に本機から電池を抜く必要があるため、その間に別の充電池または乾電池を入れておかないと、充電のたびに時計設定が初期状態に戻ってしまいます。
- 充電器は常温で使用してください。
- 充電池および充電器は、以下の製品をご利用ください。
  –充電式ニッケル水素電池：NH-AAA-4BE
  –充電式ニッケル水素電池専用急速充電器：BCG-34HRE

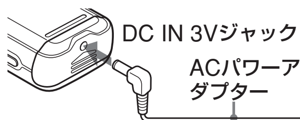
日本国内での充電式電池の廃棄について


Ni-MH

ニッケル水素充電池は、リサイクルできます。不要になったニッケル水素充電池は、金属部にセロハンテープなどの絶縁テープを貼って充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。
充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については有限責任中間法人JBRCホームページ
http://www.jbrc.net/hp/contents/index.htmlを参照してください。

家庭用電源につないで使う

長時間録音などをする場合は、付属のACパワーアダプターをコンセントにつないで使うと、電池消耗の心配がなく便利です。



ご注意

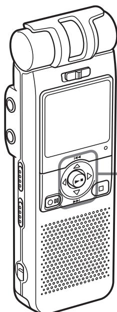
- この製品には、付属のACパワーアダプター（極性統一型プラグ•JEITA規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを使用すると、故障の原因となることがあります。


極性統一型プラグ

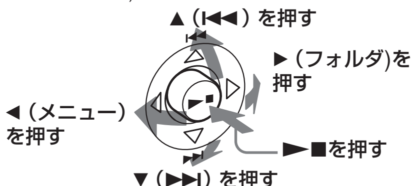
- 録音中やアクセス中はACパワーアダプターを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

準備2：時計を合わせる

アラーム機能を使用したり、録音した日時を記録するためには、本機の時計合わせをしておく必要があります。
お買い上げのあと、初めて電池を入れたときや、電池を抜いたまま長時間お使いにならなかったあとに電池を入れたときは、「時計を設定してください」が表示されます。手順6から始めてください。



コントロールキーを上/下/左/右（▲/▼/◀/▶）方向に押して項目を選び、中央を下（►■）に押して決定する。
(本書では、この操作を下記のように説明します。なお、（ ）は通常は省略されます。)



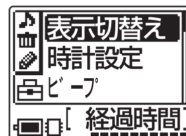
1 ◀（メニュー）を押す。

メニュー画面が表示されます。
♪(録音/再生設定）にカーソル（反転表示）があり、選ばれています。



2 ▲/▼を押して(本体設定）を選び、►■を押す。

カーソルが、右側の本体設定メニューの最初の項目（表示切替え）に移動します。



3 ▲/▼を押して「時計設定」を選び、►■を押す。

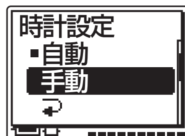
操作をやり直すには

◀を押すか、▲/▼ で（戻る）を選び、►■を押します。



（次ページへ続く）

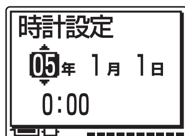
4 ▲/▼を押して「手動」を選ぶ。



☞「自動」に設定すると

Digital Voice Editor起動中に本機を接続すると自動的にパソコンの時間に設定されます（59ページ）。

5 ►■を押す。



手動時計設定画面が表示されます。

「年」の数字が選択されます。

6 年、月、日、時、分を合わせる。



① ▲/▼で「年」の数字を選び、►■を押す。

「 月」の数字が選択されます。

② 同様に、「月」、「日」、「時」、「分」を合わせる。

時刻は24時間表示です。

☞**左右の項目に移動するには**

左の項目に戻るには◄を、右の項目に移動するには►を押します。

☞**操作をやり直すには**

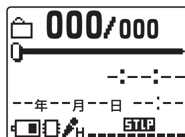
◄を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

③ 時報と同時に►■を押す。

実行画面が表示され、メニュー画面に戻ります。

ご注意

►■を押さずに1分以上たつと、時計合わせがキャンセルされ、通常の表示に戻ります。



7 ■停止ボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

☞**現在時刻を表示するには**

手順1〜3で「時計設定」を選ぶと、右下に現在時刻が表示されます。



ご注意

録音や再生をしていないときに時計設定をしてください。

用件を録音する

初期状態では、5つのフォルダ（FOLDER01～05）があり、各フォルダ内に最大で999件まで用件を録音できます。内蔵メモリー（256MB）全体では、最大で1,012件の用件を録音できます。

録音には、次の3通りの方法があります。

- 一番最後の部分に新規録音する
- 録音済みの用件に追加録音する（34ページ）
- 録音済みの用件に上書き録音する（35ページ）

ここでは、一番最後の部分に自動的に録音する方法を説明します。



最大録音可能時間（内蔵メモリー）

内蔵メモリー（256MB）の最大録音時間は、全フォルダ合わせて下記のようになります。ひとつのフォルダに最大録音時間まで録音することもできます。

録音モード	STモード*	STLPモード**	SPモード***	LPモード****
連続録音時：	11時間30分	22時間10分	35時間5分	93時間30分

* STモード：ステレオ標準モード　** STLPモード：ステレオ長時間モード
*** SPモード：モノラル標準モード　**** LPモード：モノラル長時間モード

☞ "メモリースティック" の最大録音可能時間と用件数の目安は31ページをご覧ください。

（次ページへ続く）

ご注意

- より良い音質で録音したいときは、STモードまたはSTLPモードをお使いください。録音モードについては、55ページをご覧ください。
- 録音を始める前に必ず電池残量表示（9ページ）を確認してください。
- 長時間録音途中の電池交換を避けたいときは、付属のACパワーアダプターをお使いください（10ページ）。
- 録音モードを混在して録音した場合、最大録音時間は任意に変化します。
- タッチノイズとこすれ音が録音されることがあります。

各フォルダに用件を1件ずつ録音した場合の最大フォルダ数

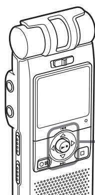
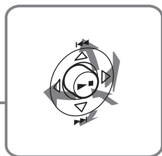
内蔵メモリーまたは"メモリースティック"に、340個のフォルダが作れます。

メモリーを拡張する（30ページ）

本機は、内蔵メモリーの他に、"メモリースティック デュオ"スロットに"メモリースティック デュオ"または"メモリースティック PRO デュオ"を挿入することにより、メモリーを拡張することができます。内蔵メモリーと"メモリースティック"は、ドライブを切り換えることによりお使いになれます。

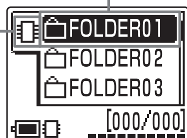
☞パソコンに本機を接続した場合、内蔵メモリーと"メモリースティック"は別のドライブとして認識されます。なお、ドライブの中身をWindowsのエクスプローラなどで表示することができますが、用件をパソコン上で再生・編集するときは、必ず付属のアプリケーションソフトウェア「Digital Voice Editor」をお使いください。

1 録音したいフォルダを選ぶ

① ▶（フォルダ）を押す。

内蔵メモリードライブ内のフォルダが表示されます。



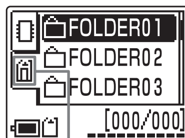
* 長いタイトルは、カーソルをスクロールして隠れている文字を表示できます。

☞フォルダ選択をやめるには

■停止ボタンを押します。通常の画面に戻ります。

② 必要な場合はドライブを切り換える。

◀を押し、▲/▼で (“メモリースティック ” ドライブ) を選び、►■を押す。
“メモリースティック”ドライブに切り換わり、ドライブ内のフォルダが表示されます。



ご注意

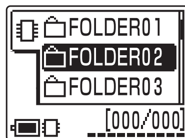
“メモリースティック”が挿入されていない場合は、 は表示されません。

☞ 内蔵メモリーに戻すには

（内蔵メモリードライブ）を選び、►■を押します。

③ ▲/▼を押して録音したいフォルダを選ぶ。

“メモリースティック”を同時にお使いの場合、▲/▼を押しつづけると、最初または最後のフォルダの後は、もう一方のドライブのフォルダに切り換わります。

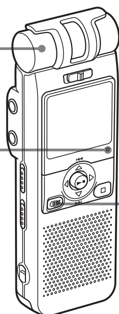


④ ►■を押して決定する。

新しくフォルダを追加する場合は41ページをご覧ください。

（次ページへ続く）

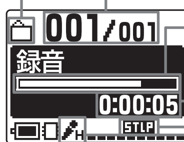
2 録音を始める



録／再ランプ（録音中は赤く点灯）
メニューの「LED」を「OFF」に設定しているときは消灯します（58ページ）。

①停止中に、●❚❚録音／一時停止ボタンを押す。

●❚❚録音／一時停止ボタンは、録音中ずっと押し続ける必要はありません。

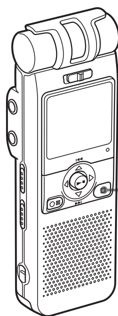


②内蔵マイクに向かって話す。

ご注意

- 録／再ランプが赤またはオレンジに点灯・点滅中は電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- （マイク）ジャックに外部マイクをつないでいるときは、内蔵マイクでの録音はできません。つないだ機器またはコードをはずしてください。
- 録音中、本機に手などがあたったり、こすったりすると雑音が録音されてしまうことがあります。ご注意ください。

3 録音を止める



■停止ボタンを押す。
今録音した用件のはじめで停止します。
次に録音するとき、フォルダが同じ場合は、手順1は省略できます。



その他の操作

録音を一時停止する*	●II録音／一時停止ボタンを押す。 録音一時停止中は録／再ランプが赤く点滅し、「一時停止」表示が点滅します。
録音一時停止を解除する	もう一度●II録音／一時停止ボタンを押す。 先ほど録音していた用件に続けて録音することができます。（録音一時停止後、録音を続けず、停止するときは、■停止ボタンを押します。）
今録音したばかりの用件を聞く	►■を押す。 録音が終了し、今録音した用件のはじめから聞くことができます。
早戻し（レビュー）再生する	録音中または録音一時停止中に▲（I◄◄）を押し続けます。録音が解除され今録音したところが早戻し（レビュー）再生されます。キーを離すと、離したところから再生が始まります。続けて上書き録音（35ページ）をしたいときなどに便利です。

* 録音を一時停止して約1時間たつと、録音一時停止は解除され、録音停止になります。

（次ページへ続く）

内蔵マイクの設定をする

特定の方向の音を中心に録音する



指向性スイッチを「入」にすると、マイクを向けた方向の音を中心にモノラルで録音できます。講演や会議での発表者など、特定の方向の音を録音する場合に便利です。

ご注意

- 指向性スイッチを「入」にすると、録音モードがST/STLPモードの場合もモノラル録音されます。「切」にすると、ST/STLPモードではステレオ録音、SP/LPモードではモノラル録音されます（55ページ）。
- ST/STLPモードはSP/LPモードより高いビットレートで録音されるため、指向性スイッチを「入」でモノラル録音した場合でもST/LPモードよりも高音質で録音できます。
- 外部マイクを接続している場合、指向性スイッチは働きません。

全方向の音を録音する

指向性スイッチを「切」にします。内蔵マイクの方向による違いはありません。

内蔵マイクの感度を切り換えるには

メニューの「マイク感度」で設定します（55ページ）。それぞれに特徴を持った2つのマイク感度から、お使いの場面に合わせた感度を選んでください。
会議（H）：会議録音など、遠くの音や小さい音を録音するとき。
口述（L）：口述録音など、近くの音や大きい音を録音するとき。

録音中の便利な機能を使う

録音中の音を聞くには―録音モニター

録音中は、付属または別売りのイヤーレシーバーを🎧（ヘッドホン）ジャックに差し込むと、イヤーレシーバーから録音をモニターできます。モニター音は音量＋/－ボタンで調節できます。（録音レベルは一定です。）

ご注意

録音モニター中に音量を上げすぎたり、イヤーレシーバーを本体に近づけすぎたりすると、イヤーレシーバーの音を内蔵マイクが拾い、ピーッという音（ハウリング）が生じることがあります。

音がしたとき自動的に録音を始めるには—デジタルVOR機能

メニューでVOR（自動音声録音スタート）を「ON」に設定してから●II録音/一時停止ボタンを押すと、VOR録音待機状態になります。

- マイクが一定レベル以上の大きさの音を拾うと、「VOR録音」が表示され、録音が開始されます。
- マイクで拾う音が一定レベル以下まで小さくなると、「VOR一時停止」が表示され、VOR録音一時停止状態になります。

VOR録音を解除するには、VORを「OFF」に設定してください。

ご注意

VOR機能は周囲の環境に左右されます。状況に合わせてマイク感度を切り換えてください。マイク感度を切り換えても思いどおりに録音できないときや、大切な録音をするときは、VORを「OFF」に設定してください。

メモリー残量表示について

残量が減るとメモリー残量表示が一つずつ消えていきます。残り時間が5分を切ると、メモリー残量表示が点滅します。さらに残り時間が1分を切ると、残り時間表示が点滅します（28ページの表示モードの設定には関係なく残り時間表示となります）。



残り時間表示

メモリーが一杯になると、自動的に録音が止まり、「ピピピピ」という警告音が鳴り、「メモリーが一杯です」が表示されます。録音を続けるには、不要な用件を消去してください（36ページ）。

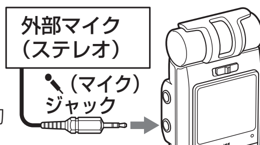
ご注意

- 音声データ以外のデータが保存されている場合、それを除いた空き容量残量が表示されます。録音可能な残り時間は、残り時間表示モードで確認することができます。なお、録音中でもメニューで表示モードの切り換えができます（28ページ）。
- メニューで「ビープ」（58ページ）を「OFF」に設定しているときは、ビープ音は鳴りません。

外部マイクや他の機器を使って録音する

接続方法の詳細やオーディオコードの型番については、別紙の「ICD知っ得Q&A」をご覧ください。

外部マイクで録音する



本機の（マイク）ジャックに別売りのミニプラグ付きマイクロホンをつなぎます。外部マイクをつなぐと、内蔵マイクは自動的に切れ、外部マイクの音を録音します。

外部マイクで録音する場合はマイク感度は設定できません。プラグインパワー対応のマイクの場合、電源は本機から供給されます。

お使いになれるマイク

ソニー製エレクトレットコンデンサーマイクロホン（ステレオマイク）ECM-CS10（別売り）をお使いいただけます。

他の機器の音声を録音する

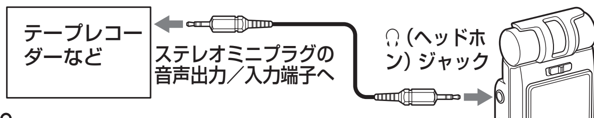
他の機器の音声を録音するには、本機のマイク感度を「会議（H）」に設定し、（マイク）ジャックと他の機器（テープレコーダーなど）の音声出力端子（ステレオミニプラグ）を、別売りのソニー製オーディオコードを使ってつなぎます。

ご注意

ICレコーダーへの入力に抵抗なしオーディオコードを使用すると音声が途切れて録音されることがあります。必ず抵抗入りオーディオコードをお使いください。

本機の音声を他の機器で録音する

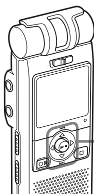
他の機器で本機の音声を録音する場合は、本機の（ヘッドホン）ジャックと他の機器の音声入力端子（ステレオミニプラグ）を、別売りのソニー製オーディオコードを使ってつなぎます。

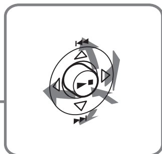


録音した用件を聞く

あらかじめ録音してある用件を選んで聞くときは、手順1から操作してください。今録音したばかりの用件を聞くには、手順3から行ってください。

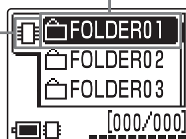
1 フォルダを選ぶ





① ▶（フォルダ）を押す。

内蔵メモリー内のフォルダアイコンとタイトルが表示されます。

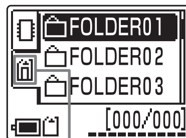


選択されているフォルダのアイコンとタイトル

内蔵メモリードライブ（）

② 必要な場合はドライブを切り換える。

◀を押し、▲/▼で（"メモリースティック"ドライブ）を選び、▶■を押す。
"メモリースティック"ドライブに切り換わり、ドライブ内のフォルダが表示されます。



"メモリースティック"ドライブ（）

ご注意

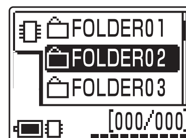
"メモリースティック"が挿入されていない場合は、は表示されません。

内蔵メモリーに戻すには

（内蔵メモリードライブ）を選び、▶■を押します。

③ ▲/▼を押して再生したい用件の入ったフォルダを表示させる。

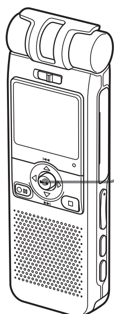
"メモリースティック"を同時にお使いの場合、▲/▼を押しつづけると、最初または最後のフォルダの後は、もう一方のドライブのフォルダに切り換わります。



④ ▶■を押して決定する。

（次ページへ続く）

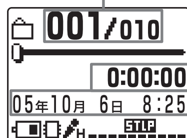
2 用件番号を選ぶ



▲/▼を押して、聞きたい用件の番号を表示させる。

▲を押す:前の用件へ
▼を押す:次の用件へ

選んだ用件番号/フォルダ内の総用件数

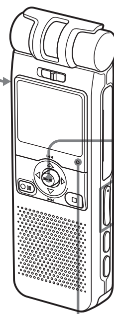


カウンター表示（メニューで設定した表示（28ページ）が表示されます。）

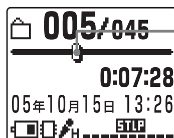
用件の録音日時

3 再生を始める

（ヘッドホン）ジャック



① ►■を押す。



再生スライダー（現在の再生位置を表示します。）

② 音量ボタン+/-で音量を調節する。



録／再ランプ（再生中は緑に点灯*）

* メニューの「LED」を「OFF」に設定しているときは消灯します（58ページ）。

フォルダ内の最後の用件まで連続再生します。最後の用件の再生が終わると、その用件のはじめに戻って停止します。

☞ひとつの用件が終わると次の用件のはじめで止まるようにも設定できます（一件再生）。（56ページ）

その他の操作

再生の途中、その位置で停止する	■停止ボタンまたは►■を押す。 もう一度►■を押すと、止めたところから再生が始まります。
今聞いている用件の頭に戻る	▲（I◄◄）を短く1回押す。*
前の用件、さらに前の用件に戻る	▲（I◄◄）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して戻ります。）
次の用件に進む*	▼（►►I）を短く1回押す。*
さらに次の用件に進む	▼（►►I）を短く何回か押す。 （停止中は押したままにすると、連続して進みます。）

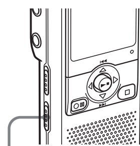
* メニューでイージーサーチが「OFF」に設定されている場合の操作です。「ON」に設定されている場合の操作は「聞きたいところをすばやく探す―イージーサーチ機能」をご覧ください。（25ページ）

高音質で再生するには

- イヤーレシーバーで聞く: 付属または「主な仕様」（67ページ）に記載されている別売りのステレオイヤーレシーバーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。スピーカーからは音が出なくなります。
- 外部スピーカーで聞く:別売りのアクティブスピーカーを🎧（ヘッドホン）ジャックにつないでください。

小さな音を聞きやすい大きさに調節する
― デジタルボイスアップ機能

ボイスアップスイッチを「入」にすると、聞き取りにくい小さな音も大きな音で再生することができます。全体の録音レベルを最適化することで、バランスの良い、聞き取りやすい再生音になります。

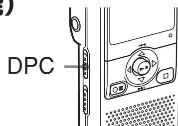

ボイスアップ

☞通常の再生音に戻すには

ボイスアップスイッチを「切」の位置に戻します。

（次ページへ続く）

再生スピードを調節する
—DPC（デジタル・ピッチ・コントロール 機能）



メニューで、再生スピードを通常の約2倍（+100%）から半分（−50%）の間で設定できます（52ページ）。DPCスイッチを「入」の位置にして再生すると、「遅聞き再生」または「速聞き再生」が3秒表示され、メニューで設定した再生スピードで用件が再生されます。音程はデジタル処理により、自然に近いレベルで再生します。



☞通常の再生スピードに戻すには

DPCスイッチを「切」の位置に戻します。

用件を繰り返し聞く –1件リピート／A−Bリピート

同じ用件を繰り返し聞く–1件リピート

メニューの再生モード（56ページ）で「 1件リピート」を選んで►■を押すと、「⮌」と「1件リピート」が表示され1つの用件が繰り返し再生されます。再生を止めるには、■停止ボタンを押します。

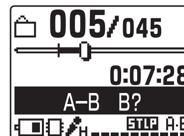


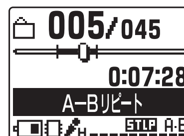
指定した区間を繰り返し聞く–A−Bリピート

指定したA点とB点間を繰り返し再生できます。

- 再生中にA-Bリピートボタンを押して、A点を指定します。（「A-B B?」が表示されます。）
- もう一度A-Bリピートボタンを押して、B点を指定します。

  「A-Bリピート」が表示され、指定した区間が繰り返し再生されます。再生を止めるには、■停止ボタンを、普通の再生に戻すには►■を押します。





ご注意

- 2件以上の用件にまたがってA点とB点を指定することはできません。
- B点を指定しないと、その用件の終わりが自動的にB点になります。

聞きたいところを探す

聞きたいところをすばやく探す —イージーサーチ機能

メニューでイージーサーチを「ON」に設定しておくと、再生中または再生一時停止中に▲（I◀◀）を1回押すごとに約3秒前、▼（▶▶I）を1回押すごとに約10秒先を再生します（56ページ）。会議録音などで、聞きたいところまで早戻し、早送りをしてすばやく探すのに便利です。

再生中に早送り／早戻しする－キュー／レビュー

- 早送り（キュー）：再生中に▼（▶▶I）を押したままにして、聞きたいところで離します。
- 早戻し（レビュー）：再生中に▲（I◀◀）を押したままにして、聞きたいところで離します。

最初は少しずつ早送り／早戻しされるので、1語分だけ戻したり、送ったりして聞きたいときに便利です。しばらくそのままにすると、高速での早送り／早戻しになります。早送り／早戻し中は、表示モード（28ページ）の設定に関係なく、カウンター表示になります。

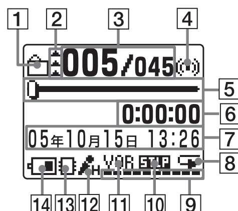
最後の用件の終わりまで再生または早送り（キュー）すると

- 最後の用件の終わりまで来ると、「メッセージエンド」が5秒間表示します。表示中は録／再ランプは緑に点灯しています（再生音は聞こえません）。
- 「メッセージエンド」の表示中に▲（I◀◀）を押したままにすると、早戻しされ、離したところから再生が始まります。
- 「メッセージエンド」表示と録／再ランプが消えると、最後の用件の頭に戻って止まります。
- 最後の用件が長時間の用件の場合で、用件中の後ろの方を探して再生したい場合は、▼（▶▶I）を押し続けていったん用件の最後まで早送りしてから、「メッセージエンド」の表示中に▲（I◀◀）を押して聞きたいところまで早戻しして探すと便利です。
- 最後の用件以外の場合は、次の用件の頭に送ってから再生中に早戻しすると素早く探せます。

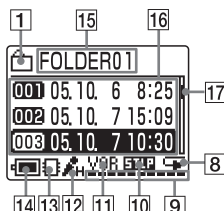
表示窓を使う

表示窓の見かた

1件表示時



リスト表示時（停止時）



1 フォルダ アイコン（46ページ）

2 重要マーク（44ページ）

3 選んだ用件番号/フォルダ内の総用件数

4 アラーム表示（51ページ）

5 再生スライダー
用件の再生位置を表示します。

6 経過時間、残り時間、用件タイトル（28ページ）
メニューの表示切替えで設定した表示が表示されます。

7 用件の録音日時

8 リピート再生表示（24、56ページ）
リピート再生モードが選ばれているときに表示されます。

9 メモリー残量表示（19ページ）

10 録音モード（55ページ）
停止、録音時は現在選択している録音モードが、再生時は再生用件の録音モードが表示されます。
ST： ステレオ標準モード
STLP：ステレオ長時間モード
SP： モノラル標準モード
LP： モノラル長時間モード

11 VOR録音表示（19、56ページ）
メニューでVORが「ON」に設定されているときに表示されます。

12 マイク感度（18、55ページ）
選択している録音時のマイク感度が表示されます。
会議（H）／口述（L）

13 ドライブ表示（15、21ページ）
現在選択されているドライブのアイコンが表示されます。
: 内蔵メモリー
: "メモリースティック"

14 電池残量表示（9ページ）
ACパワーアダプター使用時は表示されません。

15 フォルダ名（48ページ）
現在選択しているフォルダのタイトルが表示されます。

16 用件リスト
メニュー でリスト表示を「ON」に設定すると、フォルダ内の用件が3件までリスト表示されます。各用件覧には、用件番号と録音日時が表示されます。

17 スクロールバー
現在表示されている用件のフォルダ内の全用件中での位置を表示します。

ご注意

明るいところでは、バックライトが点灯し、わかりにくいことがあります。

1用件表示とリスト表示を切り換える

停止時に、メニューで用件の1件表示とリスト表示を切り換えることができます。

① ◀（メニュー）を押す。
② ▲/▼を押して（本体設定）を選び、►■を押す。
③ ▲/▼を押して「リスト表示」を選ぶ。



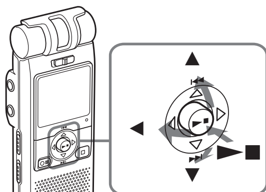
④ ►■を押す。
リスト表示設定画面が表示されます。



⑤ ▲/▼で「ON」または「OFF」を選び、►■を押す。
ON: リスト表示
OFF: 1件表示
⑥ ■停止ボタンを押して、メニューを終了する。

画面表示モードを切り換える

画面表示を切り換えることができます。停止時、録音時、再生時とも、設定しておいた画面表示モードになります。



1 ◀（メニュー）を押す。

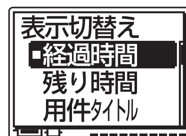
メニュー画面が表示されます。

2 ▲/▼を押して（本体設定）を選び、►■を押す。



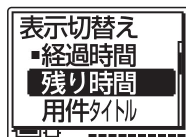
3 ▲/▼を押して「表示切替え」を選び、►■を押す。

画面表示モード設定画面が表示されます。



4 ▲/▼を押して、画面表示モードを選ぶ。

5 ►■を押す。



6 ■停止ボタンを押す。

通常の画面に戻ります。

■ 経過時間表示モード

ひとつの用件の中の経過時間を表示します 。



■残り時間表示モード

再生中はその用件の中の残り時間を表示します。録音中、停止中は録音可能な残り時間を表示します。



■用件タイトル名表示

用件タイトル名を表示します。(設定していない場合は、タイトル名は表示されません。)

☞付属のソフトウェア「Digital Voice Editor」を使ってパソコン上で用件の名前(タイトル)の入力が可能です。詳しくはヘルプをご覧ください。この場合、全角や漢字、かなのタイトルの設定もできますが、本機で対応していない一部の特殊文字は文字化けすることがあります。

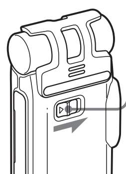


表示を消し、誤操作を防止する — ホールド機能

本機には、電源スイッチはありません。表示部には常に表示が出ていますが、電池の持続時間(9ページ)にはほとんど影響はありません。

誤動作を防止するには、ホールドスイッチを矢印の方向にずらします。「ホールド」が3秒表示され、すべてのボタンが操作できなくなります。

表示を消すには、停止中にホールドスイッチを矢印の方向にずらします。



ホールドを解除するには

表示を出し、操作できるようにするには、ホールドスイッチを矢印と反対の方向にずらします。

ご注意

録音中にホールドにした場合、録音を止めるには、まずホールドを解除してください。

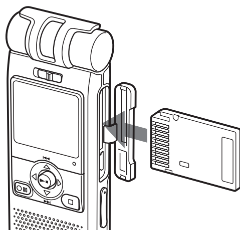
☞ ホールド中でもアラーム再生は止められます。
アラーム再生時、アラーム音や用件再生を止めるときには■停止ボタンは使えます(通常の用件再生は停止できません)。

“メモリースティック”を入れる

本機では、内蔵メモリーの他に、“メモリースティック デュオ”または“メモリースティック PROデュオ”を下図のように“メモリースティック デュオ”スロットに挿入することにより、メモリーを拡張することができます。

ご注意

- 内蔵メモリーで録音中、再生中は、“メモリースティック”の抜き差しはしないでください。故障の原因となります。
- “メモリースティック”は奥まできちんと差し込んでください。
- “メモリースティック”の向きを逆にして挿入しないでください。故障の原因となります。



“メモリースティック”を入れると（メモリーの初期化）

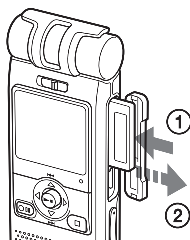
「アクセス中」が表示されます。
お買い上げ後、初めて“メモリースティック”を入れたときや、用件の入っていない“メモリースティック”を入れたときは、内蔵メモリーと同様に初期化が行われ、“メモリースティック”内に自動的にフォルダが5つ（FOLDER01～FOLDER05）作られます（9ページ）。
用件は、このフォルダ内に保存されます。

アクセス中のご注意

- 画面上に「アクセス中」表示が出ている間や、録／再ランプがオレンジに点灯または点滅している間は、メモリーへアクセス中です。アクセス中は、“メモリースティック”を抜いたり、乾電池をはずしたり、ACパワーアダプターを抜いたりしないでください。データが破損するおそれがあります。
- 用件数が多いと、「アクセス中」表示が長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。

“メモリースティック”を取り出すには

“メモリースティック デュオ”または“メモリースティック PRO デュオ”を奥に押します。自動的に出てきたら、“メモリースティック デュオ”スロットから取り出します。



最大録音可能時間と用件数[*1]の目安（1枚の“メモリースティック”内）

容量／録音モード	ST[*2]	STLP[*2]	SP[*2]	LP[*2]
32 MB	約1時間25分	約2時間45分	約4時間20分	約11時間45分
64 MB	約2時間50分	約5時間35分	約8時間50分	約23時間35分
128 MB	約5時間50分	約11時間10分	約17時間45分	約47時間25分
256 MB	約11時間10分	約21時間35分	約34時間10分	約91時間10分
512 MB	約22時間5分	約42時間35分	約67時間25分	約179時間45分
1 GB	約44時間55分	約86時間25分	約136時間50分	約364時間55分
2 GB	約92時間10分	約177時間25分	約280時間50分	約749時間5分

*1 1フォルダ内で録音可能な最大用件数は999件です。また、5フォルダの場合は1012件の用件を記録できます。

*2 ST：ステレオ標準モード /STLP：ステレオ長時間モード/SP：モノラル標準モード/LP：モノラル長時間モード

上記は、各“メモリースティック”をICD-MX50用としてのみ使用、初期状態（5フォルダ）で連続録音した場合の目安です。録音可能時間、用件数は使用条件により異なります。また、“メモリースティック PRO デュオ”の録音可能時間はメディアにより異なります。

本機で“メモリースティック”（別売り）をお使いになるときは

ご購入の際は、MEMORY STICK DUOまたはMEMORY STICK PRO DUOロゴのついた“メモリースティック”をお買い求めください。ただし、ロゴがついていても本機では使用できない“メモリースティック”があります。詳しくは、ソニー製品情報（http://www.sony.jp/）の“メモリースティック”のサイトをご覧ください。

- “Memory Stick”（“メモリースティック”）および [logo] は、ソニー株式会社の商標です。
- “MagicGate Memory Stick”（“マジックゲート メモリースティック”）は、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick Duo”（“メモリースティック　デュオ”）およびMEMORY STICK DUOは、ソニー株式会社の商標です。
- Memory Stick PRO Duo”（“メモリースティック PROデュオ”）およびMEMORY STICK PRO DUOは、ソニー株式会社の商標です。

“メモリースティック” について

“メモリースティック” とは？

“メモリースティック” は、小さくて軽い新世代のIC記録メディアです。“メモリースティック” 対応機器間でデータをやりとりするのにお使いいただけるだけでなく、着脱可能な外部記録メディアのひとつとしてデータの保存にもお使いいただけます。1枚の “メモリースティック” に、本機で録音した音声データを記録するだけでなく、他の機器で画像データなどを記録してお使い頂くことも可能です。

"メモリースティック "の大きさ

"メモリースティック"には、標準サイズのものとその小型サイズの"メモリースティック デュオ"があります。"メモリースティック デュオ"をメモリースティック デュオ アダプターに入れると、標準サイズの"メモリースティック"と同じサイズになり、標準サイズの"メモリースティック"対応機器でもお使いいただけます。本機でお使いになれるのは、小型サイズの"メモリースティック デュオ"になります。

"メモリースティック"の種類

"メモリースティック"には用途に応じて以下の種類があります。本機でお使いになれるのは、 "メモリースティック デュオ"と、"メモリースティックPROデュオ" になります。

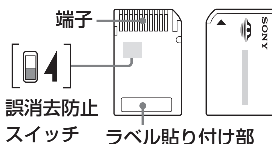
- **"メモリースティック PRO":** "メモリースティック PRO"対応機器でのみお使いいただける、著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した"メモリースティック"です。
- **"メモリースティック-R"：** いったん記録されたデータが上書きされない"メモリースティック"です。"メモリースティック-R"対応機器でのみデータを記録できます。著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータは記録できません。
- **"メモリースティック":** 著作権保護技術（マジックゲート）が必要なデータ以外の、あらゆるデータを記録できる"メモリースティック"です。
- **"マジックゲート メモリースティック":** 著作権保護技術（マジックゲート）を搭載した"メモリースティック"です。

- "メモリースティック-ROM":
  あらかじめデータが記録されている、読み出し専用の"メモリースティック"です。データの記録や消去はできません。

MagicGate（マジックゲート）とは？
マジックゲートは、暗号化技術を使って著作権を保護する技術です。本機はマジックゲート規格に対応していないため、本機で記録したデータはマジックゲートによる著作権の保護の対象にはなりません。

“メモリースティックデュオ”使用上のご注意

- 誤消去防止スイッチを「LOCK」にすると記録や編集、消去ができなくなります。（誤消去防止スイッチのない“メモリースティックデュオ”もあります。）



- データの読み込み中、書き込み中には"メモリースティック"を取り出さないでください。
- 以下の場合、データが破壊することがあります。
－読み込み中、書き込み中に"メモリースティック"を取り出したり、本機の電源を切った場合
－静電気や電気的ノイズの影響を受ける場所で使用した場合
- 大切なデータは、バックアップを取っておくことをおすすめします。

フォーマット（初期化）についてのご注意

“メモリースティック”は、標準フォーマットとして専用のFATフォーマットで出荷されています。フォーマット（初期化）が必要な場合は必ず“メモリースティック”専用機器で行ってください。本機では「メモリーを初期化する」（53ページ）の方法でフォーマットしてください。

ご注意
パソコンでフォーマットをした“メモリースティック”は、本機での動作を保証しません。

“メモリースティック”での最小録音単位について

“メモリースティック ”には、録音した音声そのものを記録する他に、用件やフォルダの数の情報も記録するため、用件やフォルダの数が増えると、その分メモリーの残量が減ります。
用件を録音したり、フォルダを追加する場合、“メモリースティック”の最小録音単位分必要です。用件の録音時間が録音単位より少ない場合でも、用件は録音最小単位分の時間が使われます。“メモリースティック”の残量が録音最小単位より少ないときは、用件の録音やフォルダの追加はできません。

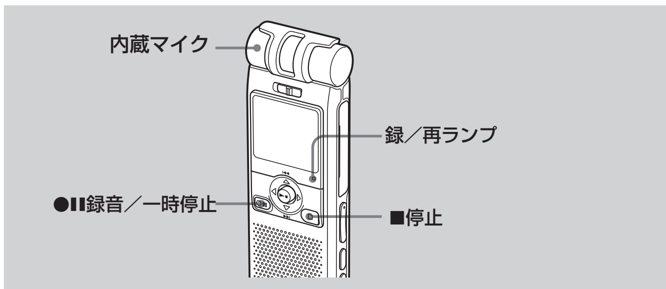
ST モード	8秒
STLPモード	8秒
SPモード	8秒
LPモード	22秒

録音済みの用件に追加または上書き録音する

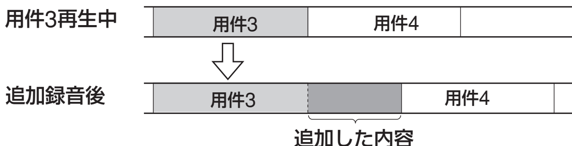
ご注意

- 本機の工場出荷状態では、誤操作を防ぐために追加録音や上書き録音は利用できません。メニューで設定を変更してください（56ページ）。
- 追加または上書き録音する部分は、再生中の用件と同じ録音モード（ST、STLP、SP、LP）で録音されます。メニューで設定した録音モード（55ページ）とは異なる場合がありますので、ご注意ください。
- 録音残り時間が不足している場合は追加または上書き録音ができません。詳しくは「故障かな？と思ったら」（63ページ）をご覧ください。

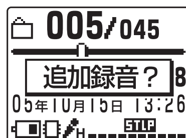
録音済みの用件に追加録音する



メニューの追加/上書きで「追加録音」が選ばれている場合、用件を再生中にその用件に追加して録音できます（56ページ）。新しく追加した内容は、再生中の用件の最後に再生中の用件の一部として追加されます。



1 再生中に●II録音/一時停止ボタンを押す。
「追加録音?」が表示し、録音スタンバイ状態になります。



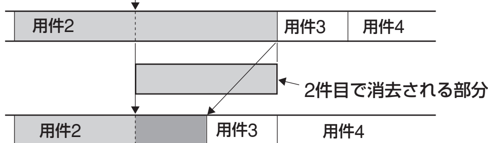
2 「追加録音?」が表示中に、●II録音/一時停止ボタンを押す。
録／再ランプは赤に変わり、再生中の用件への追加録音が始まります。



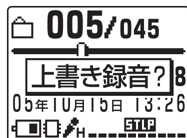
3 ■停止ボタンを押して録音を止める。

録音済みの用件の途中から上書き録音する

メニューの追加/上書きで「上書き録音」が選ばれている場合、用件の中の指定した場所から、新しい用件を上書き録音できます（56ページ）。すでに録音してあった部分は消去されます。



1 再生中に●II録音/一時停止ボタンを押す。
「上書き録音?」が表示し、録音スタンバイ状態になります。



2 「上書き録音?」が表示中に、●II録音/一時停止ボタンを押す。
録／再ランプは赤に変わり、再生中の用件への上書き録音が始まります。

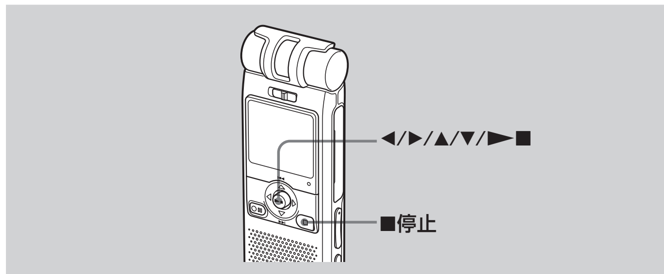
3 ■停止ボタンを押して録音を止める。

録音した用件を消去する

録音した用件を1件ずつ、または1つのフォルダ内の全用件を一度に消去することができます。

ご注意

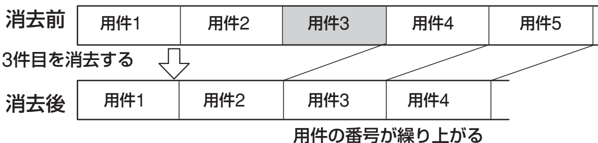
一度消去した内容はもとに戻すことはできません。ご注意ください。



1件ずつ消去する

消したい用件だけ消去できます。

用件を消すと、次の用件が自動的に繰り上がるので、間に空白部分は残りません。



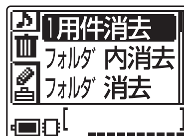
1 消去したい用件を表示する。

用件の選択方法について詳しくは、「録音した用件を聞く」（21、22ページ）の手順1と2をご覧ください。



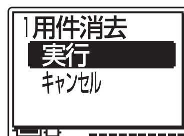
2 ◀（メニュー）を押し、▲/▼で🗑（消去）を選び、►■を押す。

消去メニューにカーソルが移動します。



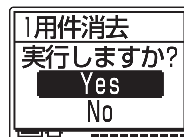
3 ▲/▼を押して、「1用件消去」を選び、►■を押す。

消去の実行画面が表示されます。



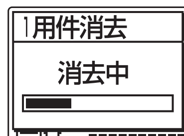
4 ▲/▼を押して、「実行」を選び、►■を押す。

確認画面が表示され、用件のはじめから再生されます。



5 ▲/▼を押して、「Yes」を選び、►■を押す。

用件が消去され、以降の用件番号が繰り上がります。（例えば、用件3を消去した場合、用件4だったものが用件3になります。消去が完了すると、消去した用件の次の用件の頭で停止します。）





☞メニューを終了するには

■停止ボタンを押します。

☞メニュー操作をやり直すには

◀を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

☞途中で消去をやめるには

手順5の前に■停止ボタンを押します。

☞ひとつの用件の一部分だけ消去するには

用件分割（39ページ）して、消去する部分としない部分に分けてから、消去したい部分の用件番号を選んでから消去の操作をします。

フォルダの中身を一度に消去する

1つのフォルダの中のすべての用件を一度に消去することができます。

1　用件を一度に消去したいフォルダ（またはフォルダ内の用件）を選ぶ。

フォルダや用件の選択方法について詳しくは、「録音した用件を聞く」（21、22ページ）の手順1と2をご覧ください。

2　◀（メニュー）を押し、▲/▼で🗑（消去）を選び、▶■を押す。

消去メニューが表示されます。



3　▲/▼を押して、「フォルダ内消去」を選び、▶■を押す。

消去の実行画面が表示されます。

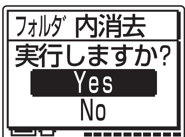


4　▲/▼を押して、「実行」を選び、▶■を押す。

確認画面が表示されます。

5　▲/▼で「Yes」を選び、▶■を押す。

フォルダ内の用件が消去されます。フォルダ自体は消去されません。



☞メニューを終了するには

■停止ボタンを押します。

☞メニュー操作をやり直すには

◀を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

☞途中で消去をやめるには

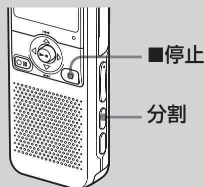
手順4の前に■停止ボタンを押します。

ご注意

消去する用件数が多い場合は時間がかかる場合があります。

用件をふたつに分ける－用件分割

録音または再生中に用件を分割して、その場所に新しい用件番号が付けられます。会議など1件の用件が長時間になったときなどに、複数の用件に分割しておくと再生したい場所がすばやく探せ、便利です。
分割したい用件が入っているフォルダの用件数が999件になるまで、用件を分割できます。



ご注意

- ICレコーダーの録音方式のシステム上の制約により、用件分割ができなくなることがあります。（66ページ）
- 重要マーク（44ページ）の付いた用件を分割した場合、分割した後ろの用件にも同じ重要マークが付きます。
- 分割した後ろの用件に付く録音日時は、分割した位置の用件の録音日時（録音開始日時）になります。
- 用件タイトル（29ページ）の付いた用件を分割した場合、分割した後ろの用件にも同じタイトルが付きます。
- アラーム設定（49ページ）された用件を分割した場合、分割した前の用件にアラームが設定されます。
- 付属のアプリケーションなどで用件にブックマークが設定されている場合、分割後のブックマークは保持されません。

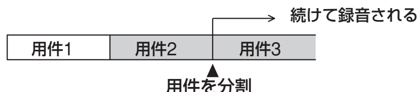
(次ページへ続く)

用件をふたつに分ける－用件分割（つづき）

録音または再生中に、用件分割したいところで分割ボタンを押す。

- **録音中に押したときは**: 押したところから新しい用件番号がつき、「新規録音」が3秒表示します。2つの用件として録音されますが、途切れず続けて録音されます。
  ☞ 録音一時停止中でも用件分割できます。





- **再生中に押したときは**: 押したところで用件が分割され、「分割中」が3秒表示します。新しい用件番号が付き、以降の用件番号はひとつずつ送られます。





用件を分割した部分を探して聞くには

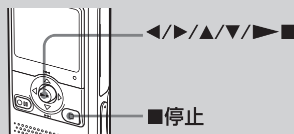
分割した用件を1件として用件番号がついているので、用件番号を探すときと同様に▲/▼を押して再生する部分を探してください。

フォルダを追加／消去する

初期状態ではFOLDER01～05の5個のフォルダが作られていますが、お好みで新しいフォルダを増やすことができます。また、使わなくなったフォルダを消去することができます。

ご注意

作成できるフォルダ数の上限は、使用条件により異なります。システム上の制約により新しいフォルダを追加できない場合は、「フォルダ追加ができません」と表示されます（65ページ）。内蔵メモリーまたは"メモリースティック"を本機専用として使用し、各フォルダに用件を1件ずつ録音した場合は最大340個のフォルダが作れます。



フォルダを追加する

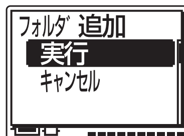
1 ◀（メニュー）を押し、▲/▼で（編集）を選び、▶■を押す。

編集メニューにカーソルが移動します。



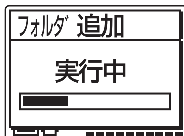
2 ▲/▼を押して、「フォルダ追加」を選び、▶■を押す。

フォルダの新規作成画面が表示されます。



3 ▲/▼で「実行」を選び、▶■を押す。

内蔵メモリーまたは"メモリースティック"の最後にフォルダが追加されます。



メニューを終了するには

■停止ボタンを押します。

メニュー操作をやり直すには

◀を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

(次ページへ続く)

☞**追加されたフォルダのフォルダアイコンとタイトルについて**

自動的に"🗀"と「FOLDER○○」というタイトルが付きます。「○○」は、「04」「AB」など、2桁の数字またはアルファベットの組み合わせになり、欠番がある場合は、空いている番号（アルファベット）が自動的に割り当てられます。フォルダアイコンとタイトルは変更することができます（46ページ）。

フォルダを消去する

1 消去したいフォルダを表示させる。

ご注意

一度消去した内容はもとに戻すことはできません。用件の入っているフォルダを消去するときは、ご注意ください。

2 ◀（メニュー）を押し、▲/▼で🗑（消去）を選び、►■を押す。

消去メニューが表示されます。



3 ▲/▼で「フォルダ消去」を選び、►■を押す。

消去の実行画面が表示されます。

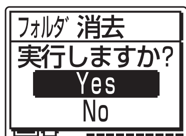


4 ▲/▼で「実行」を選び、►■を押す。

確認画面が表示されます。

5 ▲/▼で「Yes」を選び、►■を押す。

フォルダが消去されます。



☞**メニューを終了するには**

■停止ボタンを押します。

☞**途中で消去をやめるには**

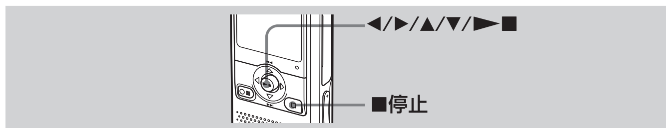
手順4の前に■停止ボタンを押します。

ご注意

- 最後に残った1つのフォルダは消去することができません。
- タイトルに「02」などの数字が付いたフォルダを消去した場合、その消去した番号は欠番となり、それ以降の数字が付いているフォルダタイトルには変更がありません。
- フォルダ内に用件がある場合「フォルダ内の用件も消去されます」と表示され、消去を実行するとそのフォルダと用件が消去されます。

用件を別のフォルダに移動する

録音済みの用件を、別のフォルダに移動させることができます。移動すると、もとのフォルダからその用件はなくなります。



例：FOLDER02の3件目の用件をFOLDER03に移動する場合

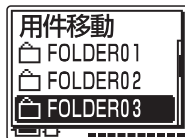
1 移動させたい用件を表示する。
用件の選択方法について詳しくは、「録音した用件を聞く」（21、22ページ）の手順1と2をご覧ください。



2 ◀（メニュー）を押し、▲/▼で✐（編集）を選び、▶■を押す。



3 ▲/▼を押して、「用件移動」を選び、▶■を押す。
移動先のフォルダを選ぶ画面が表示されます。



4 ▲/▼を押して移動先のフォルダを選び、▶■を押す。
移動の実行画面が表示され、用件が始めから再生されます。

5 ▲/▼で「Yes」を選び、▶■を押す。
用件が移動先のフォルダに移動します。そのフォルダの録音日時順または、重要マーク順に従った場所に挿入されます。



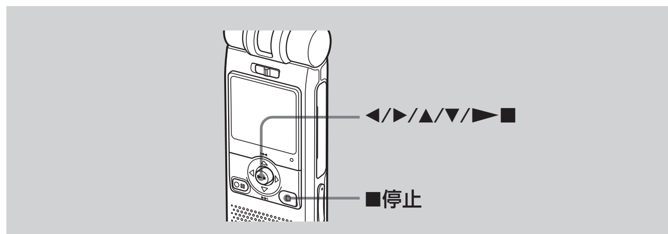
☞メニューを終了するには
■停止ボタンを押します。

ご注意
他のドライブのフォルダには移動できません。

用件に優先順位をつけて並べ換える－重要マーク

通常、用件は各フォルダの中で録音日時の古い順に番号が付けられて並んでいます。これを、重要な用件が先に来るように、重要マーク（▲）を付けて並べ換えることができます。

「▲▲▲」（最重要）、「▲▲」、「▲」、無印の4段階に並べ換えることができます。停止中または再生中に操作ができます。



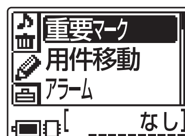
1 重要マークを付けたい用件を表示させる。

用件の選択方法について詳しくは、「録音した用件を聞く」（21、22ページ）の手順1と2をご覧ください。



2 ◀（メニュー）を押し、▲/▼で✎（編集）を選び、▶■を押す。

編集メニューが表示されます。



3 ▲/▼を押して、「重要マーク」を選び、▶■を押す。

重要マークの設定画面が表示され、用件の初めから再生されます。



4 ▲/▼を押して、▲の数を選ぶ。



5 ►■を押す。

設定が完了し、用件が並び換わります。

☞メニューを終了するには

■停止ボタンを押します。

☞メニュー操作をやり直すには

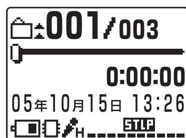
◀を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

重要マークの付いた用件は

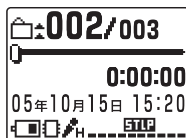
各フォルダの中で、▲の数の多い順に自動的に並べ換えられます。▲のない用件は、▲のある用件の後ろに並びます。

☞ ▲の数が同じ用件が2件以上ある場合は録音日時の古い順に並びます。

例：同じフォルダに用件が3件入っているとき



1番目



2番目



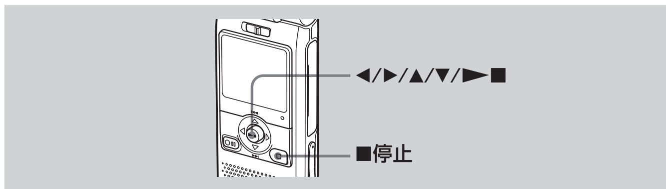
3番目

ご注意

付属のソフトウェア「Digital Voice Editor」上で重要マークを付けた場合、パソコン上で重要マーク順にソートしないと、ICレコーダーでは重要マーク順には並びません。

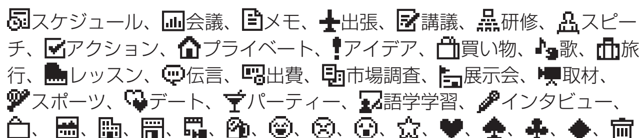
フォルダアイコンや名前を編集する

フォルダのアイコンや名前（タイトル）を自分で設定することができます。



☞テンプレートに登録されているフォルダアイコンとフォルダ名について

テンプレートとして用意されているフォルダアイコンとフォルダ名は連動しています。最初にフォルダアイコンまたはフォルダ名を選ぶ時のみフォルダアイコンと連動したフォルダ名、またはフォルダ名と連動したアイコンがそれぞれ選ばれます。再度選択し直した場合は連動しません。連動するフォルダ名のない、アイコンだけのフォルダもあります。



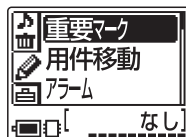
スケジュール、会議、メモ、出張、講議、研修、スピーチ、アクション、プライベート、アイデア、買い物、歌、旅行、レッスン、伝言、出費、市場調査、展示会、取材、スポーツ、デート、パーティー、語学学習、インタビュー、、、、、、、、、、、、、、、、

フォルダアイコンを変更する

フォルダには自動的にアイコン（）が付いていますが、あらかじめ用意されているアイコンに変更することができます。

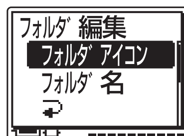
1 ◀（メニュー）を押し、▲/▼で（編集）を選び、▶■を押す。

編集メニューにカーソルが移動します。



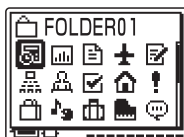
2 ▲/▼を押して、「フォルダ編集」を選び、►■を押す。

フォルダ編集画面が表示されます。



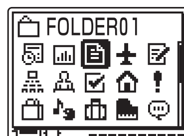
3 ▲/▼を押して、「フォルダアイコン」を選び、►■を押す。

フォルダアイコンの選択画面が表示されます。



4 ▲/▼/◄/►を押してアイコンを選ぶ。

押した方向にカーソル（反転表示）が移動します。▲/▼ に押し続けると、ページ送り、戻しができます。



5 ►■を押す。

設定したフォルダアイコンと連動するフォルダ名が確定します。



ご注意

フォルダアイコンによっては、連動するフォルダ名がない場合があります。また、編集しなおした場合は連動しません。

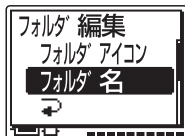
☞メニューを終了するには

■停止ボタンを押します。

用件の編集

フォルダ名を付ける

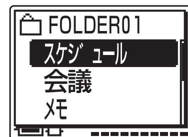
フォルダには自動的に「FOLDER03」などのように数字とアルファベットでナンバリングされた名前（タイトル）が付いていますが、あらかじめ用意されているテンプレートを選択することで、お好みのフォルダ名を付けることができます。



1 **◀（メニュー）を押し、▲/▼で✐（編集）を選び、►■を押す。**

2 **▲/▼を押して、「フォルダ編集」を選び、►■を押す。**

フォルダ編集画面が表示されます。



3 **▲/▼を押して、「フォルダ名」を選び、►■を押す。**

フォルダ名の選択画面が表示されます。

4 **▲/▼を押して、選択したいフォルダ名を選ぶ。**

5 **►■を押す。**

設定したフォルダ名と連動するフォルダアイコンが確定します。

☞メニューを終了するには

■停止ボタンを押します。

☞メニュー操作をやり直すには

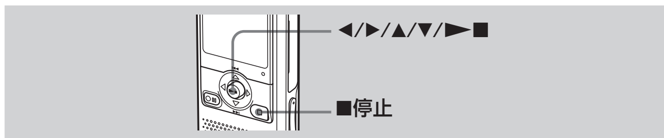
◀を押します。ひとつ前の操作に戻ります。手順5の前に■停止ボタンを押すと、メニューが終了します。

☞ 付属のソフトウェア「Digital Voice Editor」を使ってパソコン上でフォルダの名前（タイトル）を入力することも可能です。詳しくは「Digital Voice Editor」ヘルプをご覧ください。この場合、全角や漢字、かなのタイトルの設定もできますが、本機で対応していない一部の特殊文字は文字化けすることがあります。

希望の時刻に再生を始める — アラーム再生

あらかじめ設定した時刻にアラーム音とともに用件を再生できます。
特定の日付を指定したり、毎週同じ曜日や毎日同じ時刻に再生するように設定できます。また、用件の再生をせずにアラーム音だけも鳴らせます。

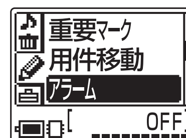
ご注意
時計を合わせていない場合や、用件が録音されていない場合は、アラーム設定はできません。



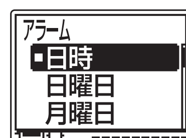
1 アラーム再生したい用件を表示させる。
用件の選択方法について詳しくは、「録音した用件を聞く」（21、22ページ）の手順1と2をご覧ください。



2 アラーム設定画面を表示する。
①◀（メニュー）を押して、▲/▼ で✎（編集）を選び、▶■ を押す。
②▲/▼ で「アラーム」を選び、▶■ を押す。
アラーム設定画面が表示します。
③▲/▼ を押して、「ON」を選ぶ。
すでに「ON」に設定されている場合は、次の手順に進んでください。
④▶■ を押す。
アラーム再生日時を設定する画面が表示されます。

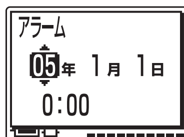


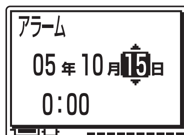




(次ページへ続く)

3 アラーム再生する日時を設定する。





日付を指定する場合

①「日時」を選び、►■ を押す。
「年」の数字が選択されます。

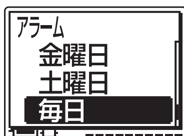
② ▲/▼ で年の数字を選び、►■ を押す。
「月」の数字が選択されます。

③ 同様に月、日の数字を選ぶ。



週に1回再生したい場合

▲/▼を押して、曜日（「日曜日」～「土曜日」）を選び、►■を押す。



毎日決まった時刻に再生したい場合

▲/▼を押して、「毎日」を選び、►■を押す。

4 アラーム再生する時刻を設定する。



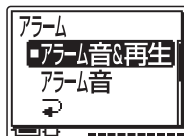
① ▲/▼ で時の数字を選び、►■ を押す。
「分」の数字が選択されます。

② ▲/▼ で分の数字を選び、►■ を押す。

ご注意

内蔵メモリーまたは"メモリースティック"内の他の用件と同じ日時にアラームを設定することはできません。

5 用件を再生するかどうかを設定する。



▲/▼を押して、「アラーム音&再生」（アラーム音後に用件を再生）または「アラーム音」（アラーム音のみ）を選ぶ。

6 ►■を押す。

設定が完了しました。1用件表示の場合、アラーム設定した用件には「((•))」が表示されます。



☞**メニューを終了するには**

■停止ボタンを押します。途中で押すと、メニューが中止され通常の画面に戻ります。

☞**メニュー操作をやり直すには**

◄を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

☞**設定した時刻になると**

「アラーム」が表示され、約10秒間アラーム音が鳴り、選んだ用件の再生が始まります（手順5で「アラーム音」を選択した場合はアラーム音のみが鳴ります）。再生が終わると、自動的に停止します（アラーム再生した用件の頭に戻ります）。アラーム再生された用件をもう一度聞くには、►■を押します。

☞**用件が再生される前に止めるには**

アラーム音が鳴っている間に■停止ボタンを押します。ホールドスイッチが入っていても止められます。

☞**現在設定されている内容を変更するには**

49、50ページの手順1～3を行うと、現在設定されているアラーム再生時刻が表示されます。50、51ページの手順4～6で新しい内容を設定します。

☞**アラーム設定を解除するには**

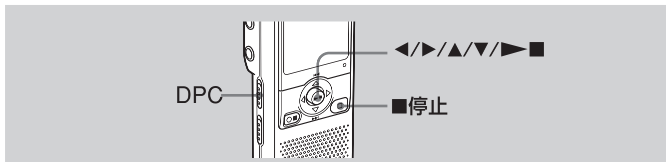
49ページの手順2-③で「OFF」を選び、►■を押します。

ご注意

- アラーム再生中に別の用件の設定時刻になった場合、用件の途中で次のアラームが鳴ります。
- 録音中にアラーム設定した時刻になった場合は、「((•))」表示のみが点滅し、録音を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- 録音中に2つ以上のアラーム設定時刻になった場合は、時刻の早い方の用件のみ録音終了後にアラームが鳴ります。
- メニューモード中にアラーム設定時刻になった時はメニューモードが中止され、アラームが鳴り始めます。
- アラーム設定した用件を用件分割した場合、分けた時点より前の部分にのみアラーム設定されます。
- 再生音の大きさは、音量+/−ボタンで調節できます。
- 消去中にアラーム設定した時刻になった場合は、消去を終了したときにアラームが鳴り始めます。
- 一度設定したアラームは、アラーム再生を終了した後も設定は解除されません。

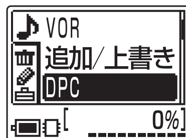
再生スピードを設定する
－DPC（デジタル・ピッチ・コントロール 機能）

メニューでDPCスイッチを「入」にしたときの再生スピードの設定をします。設定したスピードは、次に設定し直すまで有効です。



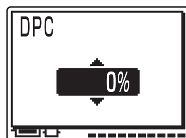
1 ◀（メニュー）を押し、♪(録音/再生設定）を選び、▶■を押す。

録音/再生設定メニューにカーソルが移動します。



2 ▲/▼で「DPC」を選び、▶■を押す。

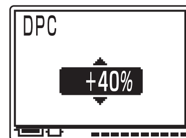
再生スピード設定画面が表示されます。表示されている数字は、標準スピードを「0」にした場合のスピードの割合（%）です。



3 ▲/▼で再生スピードを設定する。

▲：遅聞き再生（5%単位で-50%まで）

▼：速聞き再生（10%単位で+100%まで）



4 ▶■を押す。

設定したスピードが確定します。

☞メニューを終了するには

■停止ボタンを押します。

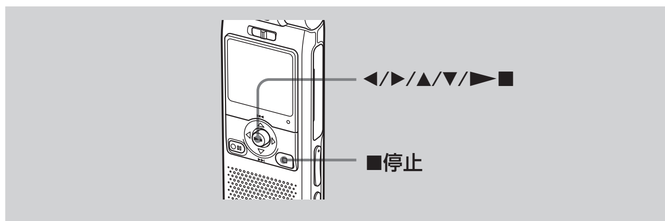
☞メニュー操作をやり直すには

◀を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

メモリーを初期化する

本機で内蔵メモリーと“メモリースティックデュオ”（または“メモリースティックPRO デュオ”）をフォーマット（初期化）することができます。フォーマットすると、メモリー内に記録されたデータは、本機で録音した用件以外のデータもすべて消去されますので、事前に内容を確認してください。

☞ 市販の“メモリースティックデュオ”（または“メモリースティックPRO デュオ”）はお買い上げ時にすでにフォーマットされています。再度フォーマットをする必要はありません。



1 ◀（メニュー）を押し、▲/▼で🗑（消去）を選び、▶■を押す。

消去メニューにカーソルが移動します。

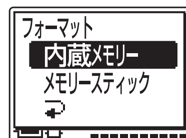


2 ▲/▼を押して「フォーマット」を選び、▶■を押す。

初期化の選択画面が表示されます。

ご注意

“メモリースティック”が挿入されていない場合はフォーマットするメディアは選べません。手順4に進んでください。



(次ページへ続く)

メモリーを初期化する（つづき）

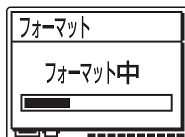
3 ▲/▼を押してフォーマットするメディア（「内蔵メモリー」または「メモリースティック」）を選び、►■を押す。
フォーマット実行画面が表示されます。



4 ▲/▼を押して「実行」を選び、►■を押す。
確認画面が表示されます。



5 ▲/▼を押して「Yes」を選び、►■を押す。
フォーマットが始まります。フォーマット中は画面に「フォーマット中」と表示されます。
フォーマットをすると、自動的にフォルダが5つ作成されます（お買い上げ後、初めて電池を入れたときと同じ状態です）（9ページ）。



☞メニューを終了するには
■停止ボタンを押します。

☞メニュー操作をやり直すには
◄を押します。ひとつ前の操作に戻ります。

☞途中でフォーマット（初期化）を中止するには
手順4で「キャンセル」または手順5で「No」を選びます。

ご注意
"メモリースティック" の誤消去防止スイッチが「LOCK」になっているときは、"メモリースティック" のフォーマットはできません。

設定を変える– メニュー一覧

以下の手順にしたがって操作してください。設定項目は4つのメニューに分類されており、内容は以下の表の通りです。なお、設定できる項目は動作モード（停止中、再生中、録音中）によって異なります。

①◀を押して、メニュー画面を表示する。
②▲/▼を押して、左側でメニューアイコン（♪/🗑/✎/⊟）を選び、►■を押して、選択したメニューの項目（右側）にカーソルを移動する。
③▲/▼を押して、設定したい項目を選び、►■を押す。
④▲/▼を押して設定し、►■を押す。
⑤■停止ボタンを押して、メニューモードを終了する。

ご注意
約1分間いずれのキーも押されないと、メニューモードが自動的に解除され、通常の画面に戻ります。

メニュー	動作モード（○:設定可能/－:設定不可）➡ 設定項目（*:初期設定）	停止中	再生中	録音中
♪ 録音/再生設定メニュー				
録音モード	録音モードを設定します。（ビットレート） ST*：ステレオ標準モード（48kbps） STLP: ステレオ長時間モード（24kbps） SP：モノラル標準モード（16kbps） LP：モノラル長時間モード（8kbps） **ご注意：**指向性スイッチを「入」にすると、STまたはSTLPモードでもモノラル録音されます。	○	－	－
マイク感度	マイク感度を設定します。 会議(H)*：会議録音モードで録音します。遠くの音や小さい音を録音するとき使います。（例：会議を録音するとき） 口述(L)：口述録音モードで録音します。近くの音や大きい音を録音するとき使います。（例：マイクを口元に近づけて録音するとき）	○	－	○

(次ページへ続く)

メニュー	動作モード（○:設定可能/－:設定不可）➡ 設定項目（*:初期設定）	停止中	再生中	録音中
VOR	VOR（自動音声録音スタート）機能を設定します。 OFF*：VOR機能が無効になり、通常の録音モードになります。 ON：VOR機能が有効になり、ある大きさ以上の音をマイクが拾うと自動的に録音が始まり、音が小さくなると録音が止まります。空録音の部分がなくなり、効率の良い録音をすることができます。	○	－	○
追加/上書き	追加、上書き録音を許可／禁止します。 OFF*：誤操作を防ぐために追加録音や上書き録音は利用できません。 追加録音：録音済みの用件を再生中に、その用件に追加して録音できます（34ページ）。 上書き録音：録音済みの用件を再生中に、指定した場所から、新しい用件を上書き録音できます（35ページ）。	○	－	－
DPC	DPC再生した場合の再生スピードを設定します。（0%*）➡24ページ参照。	○	○	－
イージーサーチ	イージーサーチ機能を設定します。 OFF*:シーソーキーの上下（⏮/⏭）で用件を送ります。 ON:再生中、シーソーキーの上（⏮）を押すと約3秒戻り、下（⏭）を押すと約10秒先に進みます。	○	○	－
再生モード	►■を押して再生を開始した時の動作を設定します。 連続再生*：フォルダ内の用件を続けて再生します。 1件再生：用件が終わるごとに止まります。 1件リピート: 選択された用件を繰り返し再生します。	○	○	－

メニュー	動作モード（○:設定可能/－:設定不可）➡ 設定項目（*:初期設定）	停止中	再生中	録音中
消去メニュー				
1用件消去	現在表示している用件を消去します。 ➡36ページ参照。	○	○	－
フォルダ内消去	現在表示しているフォルダ内の用件を一度にすべて消去します。➡38ページ参照。	○	－	－
フォルダ消去	現在表示しているフォルダとそのフォルダ内の用件を消去します。➡42ページ参照。	○	－	－
フォーマット	内蔵メモリーまたは“メモリースティック”を初期化します。➡53ページ参照。	○	－	－
編集メニュー				
重要マーク	現在表示している用件に、重要マークを設定します。（なし*/▲/▲▲/▲▲▲） ➡44ページ参照。	○	○	－
用件移動	現在表示している用件を指定するフォルダに移動します。➡43ページ参照。	○	○	－
アラーム	現在表示している用件にアラーム再生を設定します。➡49ページ参照。	○	－	－
フォルダ追加	現在選択しているドライブの最後に新しいフォルダを追加します。➡41ページ参照。	○	－	－
フォルダ編集	現在選択しているフォルダのアイコンと名前（タイトル）をテンプレートの中から選びます。➡46ページ参照。	○	－	－

その他の機能

(次ページへ続く)

メニュー	動作モード（○:設定可能/－:設定不可）➡ 設定項目（*:初期設定）	停止中	再生中	録音中
本体設定メニュー				
表示切替え	画面の表示モードを設定します。（経過時間*） ➡28ページ参照。	○	○	○
時計設定	時計設定モードが選べます。 自動*: Digital Voice Editor起動時にパソコンと接続した場合、自動的にパソコンの時計に合わせて時刻が設定されます。 手動: 時計設定画面が表示され、手動で日時が設定できます（05/1/1/0:00*）。 ➡11ページ参照。	○	－	－
ビープ	ON*：操作時の受け付け確認音およびエラー音（ピピピピ）が鳴ります。 OFF：操作時の受け付け確認音やエラー音が鳴りません（アラームは鳴ります）。	○	○	○
LED	ON*：録音、再生中など、動作中は録／再ランプが点灯します。 OFF：動作中も録／再ランプは消灯します。 （パソコンに接続中は「OFF」に設定しても録/再ランプが点灯します。）	○	－	○
バックライト	ON*: 操作時には表示窓のバックライトを点灯します。 OFF: 操作時にも表示窓のバックライトは消灯します。	○	○	○
リスト表示	停止時にフォルダ内の用件をリスト表示するかどうかを設定します。（ON/OFF*） ➡27ページ参照。	○	○	－

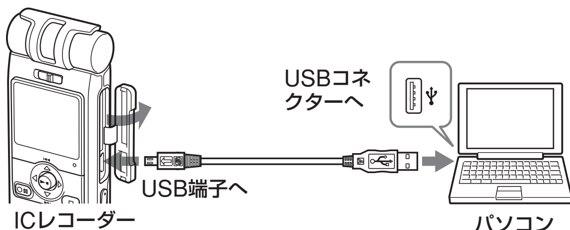
パソコン接続キットを使う

付属のパソコン接続キットを使ってパソコンに接続すると、以下の操作ができます。詳しくは、Digital Voice Editorの取扱説明書をご覧ください。

- 本機で録音した用件をパソコンのハードディスクに保存する。
- パソコンに保存した用件を本機に転送する。
- パソコンに取り込んだ用件を電子メールに添付して、声のメールを送る。
- 音声認識ソフトウェア（別売り）と組み合わせて音声を文字化する。

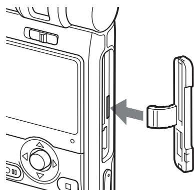
接続する

パソコン接続キットに付属のUSBケーブルで、パソコンのUSBコネクターと本機のUSB端子を接続します。



パソコンと接続すると、本機の画面には「PC接続中」と表示され、パソコンで本機を認識できるようになります。

端子カバーは落としたり、無理な力を加えたりするとはずれることがあります。そのときは右の図のようにはめ直してください。



☞ **本機の時計を自動で設定する**

メニューで「時計設定」を「自動」にしているときは、Digital Voice Editorの起動時にパソコンに接続すると、本機の時計は自動的にパソコンの時計に合わせて設定されます。

(次ページへ続く)

その他の機能

☞ パソコンに本機を接続した場合、内蔵メモリーはICレコーダー、"メモリースティック デュオ"または"メモリースティック PRO デュオ""はリムーバブルディスクとして認識されます。なお、ドライブの中身をWindowsのエクスプローラなどで表示することができますが、用件をパソコン上で再生・編集するときは、必ず付属のアプリケーションソフトウェア「Digital Voice Editor」をお使いください。

必要なシステム構成

付属のパソコン接続キットを使うためには、次のようなハードウェア、ソフトウェアが必要です。

■ 以下の性能を満たしたIBM PC/AT*およびその互換機
- CPU：266MHz以上のPentium®IIプロセッサ**もしくは同等の性能を有するプロセッサ(NEC PC-98シリーズとその互換機、自作PCでは動作保証いたしません。Macintoshには対応していません。)
- RAM 容量：64M バイト以上
- ハードディスクの空き容量：70M バイト以上(音声データの扱い量に比例して多くの空き容量が必要です。)
- ドライブ： CD-ROMドライブ(インストール時)/"メモリースティック"ドライブ("メモリースティックデュオ"使用時)
- 通信ポート：USB
- サウンドボード：Sound Blaster 16 互換
- ディスプレイ：ハイカラー(16 ビットカラー)以上、800 x 480 ドット以上

■ OS ： Microsoft Windows® XP Media Center Edition 2005/ Windows® XP Media Center Edition 2004/Windows® XP Professional/Windows® XP Home Edition/Windows® 2000 Professional/Windows® Millennium Edition/Windows®98 Second Edition標準インストール***(日本語版)
(Windows®95、Windows®98、Windows® NTには対応していません。)

* IBM、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの登録商標です。
** PentiumはIntel Corporationの登録商標です。
*** Microsoft、Windowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。

使用上のご注意

ノイズについて

- 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。
- 録音中に本機に手などが当たったり、こすったりすると、雑音が録音されることがあります。

ご使用場所について

- 運転中のご使用は危険ですのでおやめください。

取り扱いについて

- 落としたり、強いショックを与えたりしないでください。故障の原因になります。
- 次のような場所には置かないでください。
  –温度が非常に高いところ（60℃以上）。
  –直射日光のあたる場所や暖房器具の近く。
  –窓を閉めきった自動車内（特に夏期）。
  –風呂場など湿気の多いところ。
  –ほこりの多いところ。

キャッシュカードや定期券など、磁気を利用したカード類をスピーカーに近づけると、マグネットの影響で磁気が変化してカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

本体表面が汚れたときは、水気を含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナーやベンジン、アルコール類は表面の仕上げを傷めますので使わないでください。

バックアップのおすすめ

万一の誤消去や、ICレコーダーの故障などによるデータの消滅や破損にそなえ、大切な録音内容は、必ず予備として、テープレコーダーなどに録音、またはパソコンなどにバックアップを保存してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、もう一度下記項目をチェックしてみてください。それでも解決しない場合、ご不明な点は、裏表紙に記載のパーソナルオーディオ·カスタマーサポートページをご覧いただくか、お客さまご相談センターまでお問い合わせください。

なお、保証書とアフターサービスについては、69ページをご参照願います。

こんなときは

症状	原因／処置
“メモリースティック”が認識されない、自動的に作られるフォルダが、5個よりも少ない。	● “メモリースティック”内の別ファイル(画像データなど)によって、初期フォルダを作成するために必要な容量が不足している。 →Windowsのエクスプローラなどで不要なデータを消去するか、本機でメモリーの初期化を行う。
操作ボタンを押しても動作しない。	● 乾電池の⊕と⊖の向きが正しくない（8ページ）。 ● 乾電池が消耗している（9ページ）。 ● ホールドスイッチが入っている(ボタンを押すと「ホールド」が3秒表示)（29ページ）。
スピーカーから音が出ない。	● イヤーレシーバーが差し込まれている。 ● 音量が絞られている（22ページ）。
イヤーレシーバーをつないでいても、スピーカーから音が出る。	● 再生中にイヤーレシーバーを差し込むとき、最後まで差し込まないとスピーカーからも音が聞こえてしまうことがあります。 →いったんイヤーレシーバーを抜いて、最後までしっかり差し込む。
録/再ランプが点灯しない。	● メニューのLEDが「OFF」に設定されている（58ページ）。→「ON」に切り換える。
録音できない。	● メモリーが一杯になっている。メモリーの録音可能用件数（13、31ページ）が録音されている。 →不要な用件を消去する（36ページ）か、付属のパソコン接続キットを使ってパソコンに保存してから、メモリーの内容を消去する。 →空き容量のある“メモリースティック”に録音する（30ページ）。 ● 選んだフォルダに999件録音されている。 →別のフォルダを選ぶか、不要な用件を消去する。 ● “メモリースティック”を使用している場合、誤消去防止スイッチが「LOCK」になっている（33ページ）。

症状	原因／処置
用件を消去できない。	● “メモリースティック”を使用している場合、誤消去防止用スイッチが「LOCK」になっている（33ページ）。 ● その用件（またはその用件の入っているフォルダ）が、パソコン上で「読み取り専用」に設定されている。 →データをWindowsのエクスプローラで表示させ、ファイルまたはフォルダのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずす。
追加、または上書き録音できない。	● メモリー残量が不足している場合は追加、または上書き録音できません。なお、上書き録音の場合、上書きされる部分は、新たに録音される部分の録音が終わってから消去されるため、録音できるのは、現在の残り録音可能時間分のみです。 ● メニューの「追加/上書き」（56ページ）が「OFF」になっている。→「ON」に切り換える。
録音が途中で止まる。	● メニューの「VOR」（自動音声録音スタート）（56ページ）が「ON」になっている。→「OFF」に切り換える。
雑音が入る。	● 録音したとき、本機をこすってしまい、雑音が録音された。 ● 録音中や再生中に本機を電灯線、蛍光灯、携帯電話などに近づけすぎると、ノイズが入ることがあります。 ● 外部マイク（別売り）で録音したとき、マイクのプラグが汚れていた。→プラグをきれいにクリーニングする。 ● イヤーレシーバーで聞いているとき、イヤーレシーバーのプラグが汚れている。→プラグをきれいにクリーニングする。
録音レベルが小さい。	● マイク感度が「口述(L)」になっている。→「会議(H)」に切り換える（55ページ）。 ● 小さな音が聞きづらいときは、デジタルボイスアップ再生をすると聞き取りやすくなる場合があります。
音声が途切れて録音される。（他の機器をつないで録音しているとき）	● 本機への入力に、抵抗なしオーディオコードを使用すると、音声が途切れて録音されることがあります。 →抵抗入りのオーディオコードを使う（20ページ）。
再生スピードが速すぎたり遅すぎたりする。	● DPCスイッチが「入」になっているため、メニューの「DPC」で調整した再生スピードで再生されている（24、52ページ）。 →DPCスイッチを「切」にすると、通常の速度で再生されます。または、「DPC」で再生スピードを調整してください。

(次ページへ続く)

故障かな？と思ったら（つづき）

症状	原因／処置
時計表示が「--:--」になる。	• 時計を合わせていない。（ 11ページ参照）
録音日時表示が「--年--月 --日」または「--:--」になる。	• 時計を合わせていない時に録音した用件には、録音した日付は表示されません。
メニュー表示の項目が足りない。	• 再生、または録音中は、表示されないメニューがあります（55〜58ページ）。
フォルダタイトルや用件タイトルが文字化けして□になってしまう。	• 付属のソフトウェア「Digital Voice Editor」を使ってパソコンでタイトルを入力した場合、本機で対応していない特殊文字や記号が混ざっていると、本機の表示窓では文字化けすることがあります。
用件が重要マークの順に並んでいない。	• 付属のソフトウェア「Digital Voice Editor」を使って、パソコンで重要マークを付けた場合、パソコン上で重要マーク順にソートしていれば、本機に戻したときにも重要マーク順に並びますが、ソートしていない場合は、重要マークに関係なく、パソコン上での並び換えた用件の順番になります（44ページ）。
ICレコーダーに表示される残り時間（29ページ）が、付属のソフトウェアでのパソコン上での残量表示より短い。	• ICレコーダーではシステム上必要な領域を差し引いて表示しているため、「Digital Voice Editor」での残量表示と異なる場合があります。
電池の持続時間が短い。	• 9ページの乾電池の持続時間は、音量ボタンが中間レベル付近で内蔵スピーカーで再生した場合の目安です（ソニーアルカリ乾電池LR03（SG）使用時）。使用条件によって短くなる場合があります。
「アクセス」表示が消えない。	• 用件数が多いと、長時間表示されることがありますが、故障ではありません。表示が消えるまでお待ちください。
正常に動作しない。	• 乾電池を取り出して、もう一度入れ直す。
パソコンと接続できない。	• 付属の「Digital Voice Editor 2」の取扱説明書をご覧ください。 • 別売りのパソコン接続キットICKIT-W1/W2/W5/W7/W9は本機とは接続できません。

修理に出すと、録音した内容が消えることがあります。ご了承ください。

エラー表示一覧

エラー表示	原因／処置
フォルダ内の用件が一杯です	フォルダ内の用件の合計数が999件を超えているため、用件を追加できません。いくつか用件を消去してからやり直してください（36ページ）。
フォルダ追加ができません	ドライブ内のフォルダの合計数が最大フォルダ数を超えているため、追加できません。不要なフォルダを消去してください（42ページ）。
用件／フォルダがありません	選んだ用件フォルダには1件も用件が録音されていません。または選んだドライブにはフォルダが保存されていません。用件が録音されていないと、アラーム設定などの操作はできません。
ファイル形式が異なります	選んだ用件はファイル形式が異なるため、本機で再生や消去ができません。
電池が残りわずかです	電池が消耗しています。新しい電池に取り換えてください（9ページ）。電池残量が少ないと消去やフォーマットが行えません。
電源異常です	指定以外、または故障したACパワーアダプターを使用しています。付属のACパワーアダプターまたは電池でご使用ください（10ページ）。
同時刻に設定済みです	すでに別の用件で同じ日時にアラーム再生が設定されています。設定を変更してください（49ページ）。
過去の日時です	現在日時よりも前の日時でアラームを設定しています。年月日などもう一度確認して、設定し直してください。
メモリースティックがロックされています	"メモリースティック"の誤消去防止用スイッチを確認し、「LOCK」されている場合は解除してからもう一度挿入し直してください（33ページ）。
読み出し専用のメモリースティックです	読み出し専用に設定されているため、編集や消去ができません。設定を解除してから操作してください。
ファイル/フォルダがプロテクトされています	パソコン上でファイル／フォルダが「読み取り専用」に設定されているため、その用件は編集や消去ができません。そのファイル/フォルダのプロパティの「読み取り専用」のチェックをはずしてください。
フォルダが残り1つです	最後のフォルダは削除できません（42ページ）。
非対応のデータです	本機で対応していないファイル形式か、データが破損しています。
メモリーが一杯です	"メモリースティック"または内蔵メモリーの残量が足りないため、録音できません。いくつか用件を消去してからやり直してください（36ページ）。

(次ページへ続く)

故障かな？と思ったら（つづき）

エラー表示	原因／処置
メモリースティックエラー	“メモリースティック”のデータが破損しているため、読み込み等の作業ができません。もう一度“メモリースティック”を入れ直すか別の“メモリースティック”を使ってください。
本機でフォーマットが必要です	本機以外の機器で初期化された“メモリースティック”はお使いになれません。本機の「フォーマット」機能を使って初期化してください（53ページ）。
故障です	メモリー内のデータが破損しており、アクセスできません。またはシステム障害が発生しました。
電池を交換してください	電池が消耗しています。新しい電池に取り換えてください（9ページ）。

システム上の制約

ICレコーダーの録音方式では、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

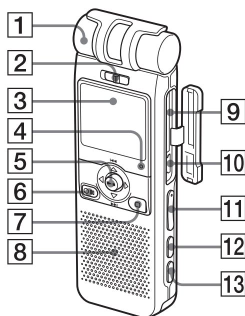
症状	原因
最大録音時間まで録音できない	● STモード、STLPモード、SPモード、LPモードを混ぜて録音すると、最大録音時間はSTモードとLPモードの最大録音時間の間になります。 ● 音声データ以外のデータ（画像データなど）が入っている。 ● “メモリースティック”には最小録音単位があるため、用件の数が多いと、端数が出ることにより実際の録音可能時間が最大録音時間より短くなることがあります。 ● 録音可能時間は、フォルダ数や用件数により変わります。 ● 上記の理由により、実際に録音した時間（カウンター表示）の合計と、「残り時間」を合計した時間が、最大録音時間より少なくなる場合があります。
用件分割できない。	● 1つのフォルダ内で999件に達すると、用件は分割できません。 ● 用件の分割と結合を繰り返すと、用件分割や用件結合ができなくなる場合があります。

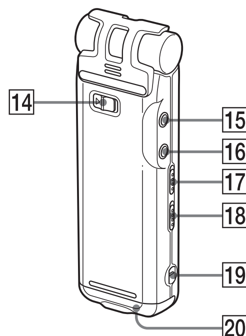
主な仕様

録音方式
　内蔵フラッシュメモリー 256 MB使用、“メモリースティックデュオ”/“メモリースティックPRO デュオ"（別売り）使用、ステレオ、モノラル録音
最大録音時間
　13、31ページ参照
周波数範囲
　ST: 60～13,500 Hz
　STLP/SP: 60～7,000 Hz
　LP: 60～3,500 Hz
スピーカー
　直径 28mm
入・出力端子
　マイク（ステレオミニジャック）
　　プラグインパワー対応
　　最小入力レベル 0.6mV
　ヘッドホン（ステレオミニジャック）
　　負荷インピーダンス 、8～300Ω
　USB端子
　"メモリースティック デュオ"スロット
再生スピード調節（DPC）
　＋100%～–50%
実用最大出力
　350mW
電源
　DC 3V　単4形アルカリ乾電池2本使用
最大外形寸法
　約36.6×107.5×16.9mm（幅／高さ／奥行き）最大突起部含まず
質量
　96g（アルカリ乾電池LR03 2本含む）
付属品
　ACパワーアダプター（1）／ソニーアルカリ乾電池LR03（2）／イヤーレシーバー（1）／キャリングケース（1）／パソコン用アプリケーションソフト（CD-ROM）（1）／USBケーブル（1）／取扱説明書（本体用1、アプリケーションソフト用 1）／早分かりカード（1）／保証書（1）／ソニーご相談窓口のご案内（1）／ICD知っ得Q&A（1）／音声認識の手引き（1）
別売アクセサリー
　“メモリースティックデュオ” MSH-M32N（32MB）、MSH-M64N（64MB）、MSH-M128N（128MB）
　“メモリースティックPRO デュオ” MSX-M256S（256MB）、MSX-M1GST（1GB）
　“メモリースティックPRO デュオ（High Speed）” MSX-M256NU（256MB）、MSX-M512NU（512MB）、MSX-M1GNU（1GB）、MSX-M2GNU（2GB）
　インナーイヤーレシーバー MDR-EX71SL、MDR-E931LP
　アクティブスピーカー SRS-T88、SRS-T80
　エレクトレットコンデンサーマイクロホン ECM-CS10、ECM-TL1
　オーディオコード RK-G134/G135/G136/G139（接続方法については、別紙の「ICD知っ得Q&A」をご覧ください。）
　充電式ニッケル水素電池 NH-AAA-4BE
　充電式ニッケル水素電池専用急速充電池　BCG-34HRE
　* 連続録音の場合は、途中電池交換が必要になります。詳しくは乾電池の持続時間（9ページ）をご確認ください。

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

各部のなまえ





1 モノラル／ステレオマイク（単一指向性/全指向性）（16、18ページ）
2 指向性 入（モノラル）／切スイッチ（18ページ）
3 表示窓（26ページ）
4 録／再ランプ（16、22、58ページ）
5 コントロールキー（11ページ）（◀（メニュー）/▶（フォルダ）／▲(I◀◀:早戻し）/▼(▶▶I:早送り）/▶■（再生／停止、決定)
6 ●II録音／一時停止ボタン
7 ■停止ボタン
8 スピーカー
9 “メモリースティック デュオ”スロット（30ページ）
10 USB端子（59ページ）
11 音量+/−ボタン（22ページ）
12 分割ボタン（39ページ）
13 A-B リピートボタン（24ページ）
14 ホールドスイッチ（29ページ）
15 🎧（ヘッドホン）ジャック（20、22ページ）
16 🎤（マイク）ジャック（20ページ）
17 DPC 入／切スイッチ（24ページ）
18 ボイスアップ入／切スイッチ（23ページ）
19 ストラップ取り付け部
ストラップを取り付けられます。
20 電池ぶた（8ページ）

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間はお買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

この説明書をもう一度ご覧になってお調べください。

それでも具合の悪いときはサービスへ

お買い上げ店または添付の「ソニーご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社ではICレコーダーの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、製造打ち切り後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能な期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店またはサービス窓口にご相談ください。

索引

記号、アルファベット順

記号

A

D

L

S

U

V

五十音順

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

お問い合わせ窓口のご案内

本機についてご不明な点や技術的なご質問、故障と思われるときのご相談については、下記のお問い合わせ先をご利用ください。

- **ホームページで調べるには→パーソナルオーディオ・カスタマーサポートへ（http://www.sony.co.jp/support-pa/）**

  ICレコーダーに関する最新サポート情報や、よくあるお問い合わせとその回答をご案内するホームページです。

- **電話・FAXでのお問い合わせは→お客さまご相談センターへ（下記電話・FAX番号）**
  - 本機の商品カテゴリーは［オーディオ］－［ウォークマン］です。
  - お問い合わせの際は、次のことをお知らせください。

    ◆セット本体に関するご質問時：
    - 型名：ICD-MX50
    - シリアルナンバー：電池ボックス内
    - ご相談内容：できるだけ詳しく
    - お買い上げ年月日

    ◆付属のソフトウェアに関連するご質問時：
    質問の内容によっては、お客さまのシステム環境について質問させていただく場合があります。上記内容に加えて、システム環境を事前に分かる範囲でご確認いただき、お知らせください。

商品の修理、お取扱い方法、お買物相談などの問い合わせ

● http://www.sony.co.jp/SonyDrive/

お客様ご相談センター

● ナビダイヤル …………0570-00-3311
（全国どこからでも市内通話料でご利用いただけます）

● 携帯電話・PHSでのご利用は…03-5448-3311
（ナビダイヤルがご利用できない場合はこちらをご利用ください）

● FAX ………………………0466-31-2595

受付時間 ：月～金 9:00～20:00　土・日・祝日 9:00～17:00
お電話は自動音声応答にてお受けしています。

ソニー株式会社　〒141-0001　東京都品川区北品川 6-7-35

Printed in China



この説明書は100%古紙再生紙とVOC（揮発性有機化合物）ゼロ植物油型インキを使用しています。